資料６－２

参 考 資 料

岩手県こどもモニター

令和7年度 アンケート（第一回）

報告書（ほうこくしょ）





令和7年10月

岩手県　政策企画部（せいさくきかくぶ）　広聴広報課（こうちょうこうほうか）

1 アンケートの概要（がいよう）

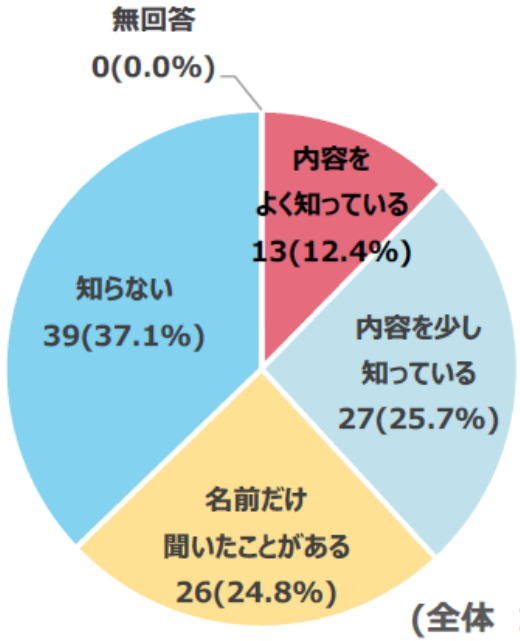
アンケート期間（きかん）	令和7年9月2日(火)～9月25日(木)
回答（かいとう）した人数	105人
答えてくれた人の割合	94.6%（105人／111人）
アンケート方法	インターネットによるモニター調査（ちょうさ）
テーマ	1. こどもたちに震災（しんさい）を伝えることについて 2. 環境（かんきょう）について 3. こどもの権利（けんり）が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために 4. 岩手県で働（はたら）くことについて



5 調査結果
テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために

問1 あなたは、こどもの権利を世界のみんなが守るためにきめられた「こどもの権利条約」を知っていますか。（一つ選んでください）

- こどもの権利条約について、「内容をよく知っている」は13人（12.4%）にとどまりました。
- 一方で、「内容を少し知っている」27人（25.7%）と「名前だけ聞いたことがある」26人（24.8%）をあわせると、半数をこえる人が存在を知っていることがわかります。
- ただし、「知らない」と答えた人も39人（37.1%）と多く、今後さらに広めていく必要があります。

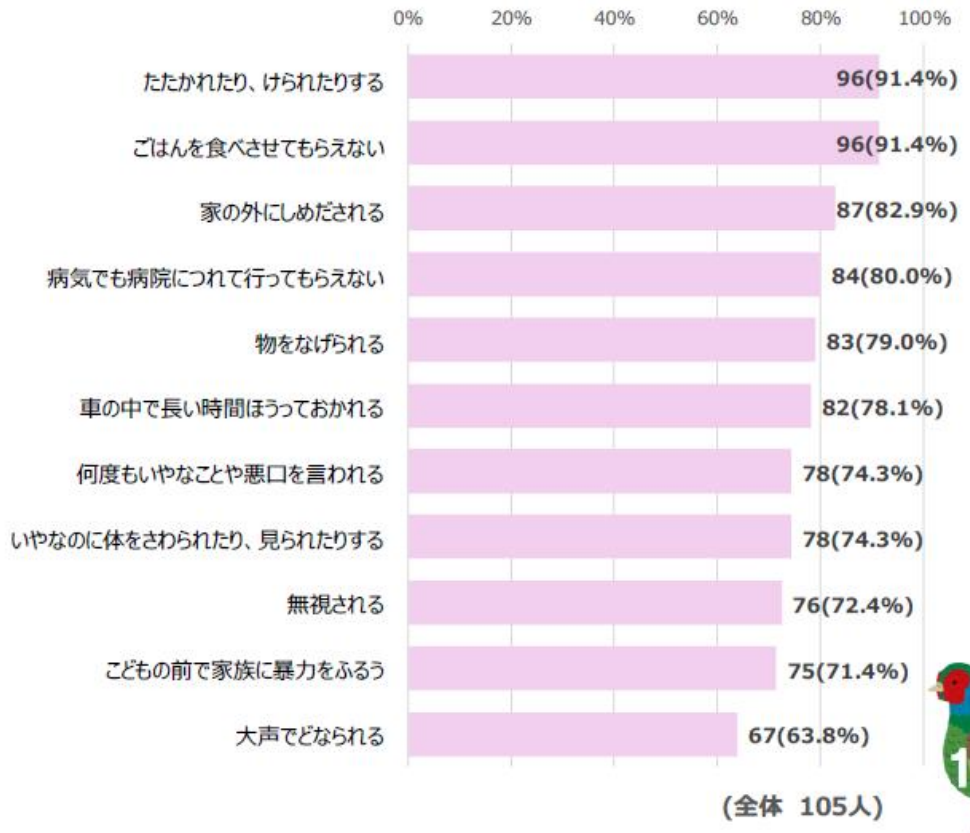


5 調査結果

テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために

問2 こどもの大切な権利をうばう「虐待」について、あなたが「虐待」だと思うことはなんですか。（いくつでも選んでください）

- 「たたかれたり、けられたりする」「ごはんを食べさせてもらえない」はともに96人（91.4%）で、9割以上の人が虐待にあたると考えています。
- いずれの行動も虐待ととらえる人が6割をこえており、さまざまな行動がこどもの大切な権利をうばうことにつながると考えられていることがわかります。



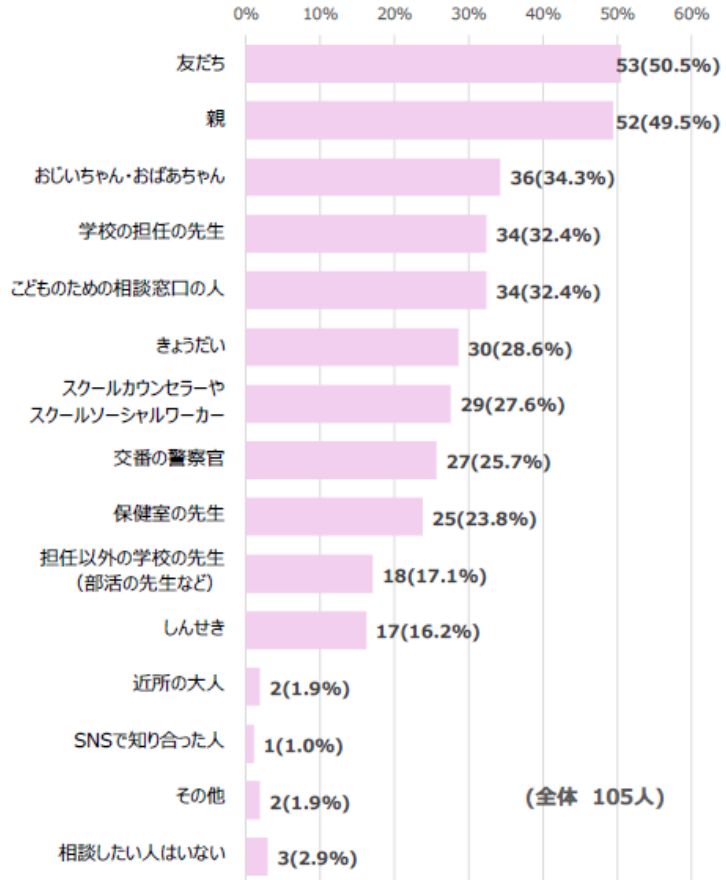
5 調査結果
テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために

問3 もし、あなたが問2で「虐待だと思う」と答えたことを大人からされたとき、だれに相談したいですか。（いくつでも選んでください）

- 虐待を受けたときの相談相手として、「友だち」が53人（50.5%）と最も多く、ついで「親」が52人（49.5%）となっています。また、「おじいちゃん・おばあちゃん」や「学校の担任の先生」など身近な信頼できる大人をあげる人も多くみられました。

- 一方で、「こどものための相談窓口の人」「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー」「交番の警察官」など、公的な相談先を選ぶ人も3割くらいいました。

- 「その他」では、『AI』、『友達の場合は、本当になんでも話すことができる友達』などの回答がありました。



5 調査結果

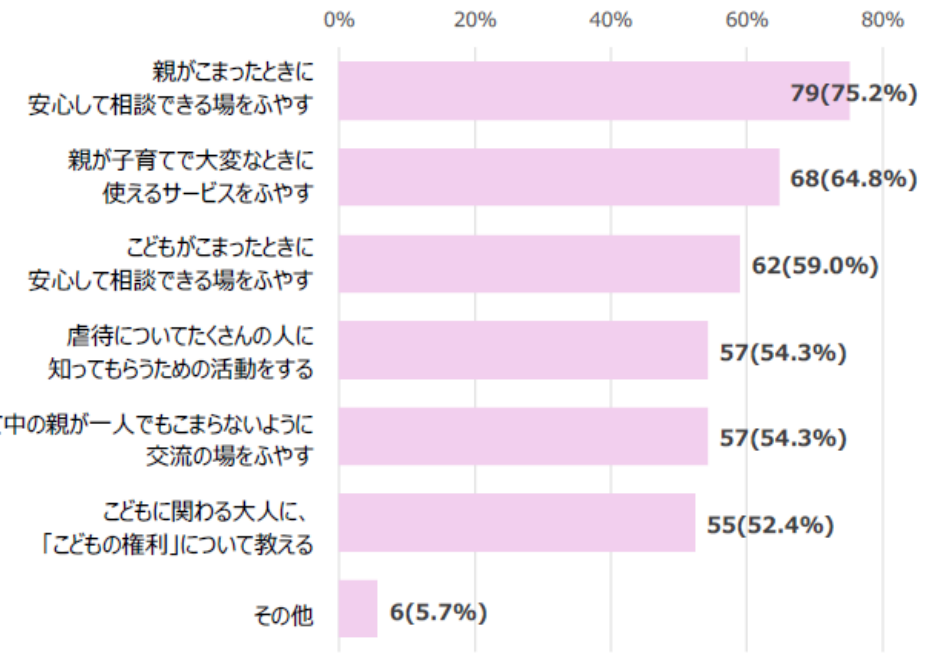
テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために

問4 虐待がおこらないような社会にするために、大人たちはどんなことをすればよいと思いますか。（いくつでも選んでください）

- 虐待がおこらないような社会にするために必要なことについて、「親がこまったときに安心して相談できる場をふやす」が79人（75.2%）と最も多くなりました。

- ついで、「親が子育てで大変なときに使えるサービスをふやす」や「こどもがこまったときに安心して相談できる場をふやす」など、支援サービスや相談場所をふやすことが大切だと考える人も多いことがわかりました。

- 「その他」では、『虐待しないように経済的な余裕と心の余裕を持つ』などの回答がありました。



（全体　105人）

5 調査結果
テーマ3：こどもの権利が守られ、こどもが大切に育てられる岩手を目指すために

問5 虐待を受けているかもしれないこどもを助けるために、大人たちはどんなことをすればよいと思いますか。（いくつでも選んでください）

- 虐待を受けているかもしれないこどもを助けるために必要なこととして、「こどもが相談したときに、ちゃんと話をきいてくれる人をふやす」が79人（75.2%）と最も多くなりました。
- 「こどもに虐待について相談できる人や場所があることを教える」「こどもに相談することはわるいことでも、はずかしいことでもないと伝える」など、こどもが安心して声をあげられる環境づくりを重視する回答も多くみられます。
- 「その他」では、『相談電話を、学校や公民館などのあまり人に聞かれないところにこっそりおく』という回答がありました。

